

序論

▶昨日のメッセージは、エジプトはとても大きな国だったのですが、ヨセフ一人によって変えられたということをお話ししました。実際、70億の人口が飛びかかってくるまで福音には勝てません。皆さんがその契約を握りますと、皆さんによって日本を生かし、教会を生かすことができます。ただ問題というのは、私には問題が多い、私にはできないというような思いがあるということです。その思いを変えていけば良いと思います。それがまさに祝福です。そこから発展していきますと、答えは連続的に起きていくと思います。

▶それでは、今日の2講義目は何でしょうか。私と日本をサミットにしていく機会が来ました。皆さんには力がないと思います。ヨセフがエジプトに行きましたが、何の力もないものでした。そうです。皆さんも自分のことをそう思っているかもしれないかもしれません。でも、実は違います。神様が救われた者に与えられた驚くべき祝福があります。

▶序論 - 24時霊的サミット（信仰の準備をなさい）

それがなにかと言いますと、霊的サミットとして召されたということです。もちろん皆さんを大統領に、または総理にさせることもできますが、神様は皆さんを霊的サミットとして召されました。これを今日から逃さないようお願いいたします。霊的サミットとして召された、これを信じることです。

1) 簡単なところ

▶信じると、とても簡単なところに答えがあるのです。だれでもできるとも簡単なところにこの答えがあるのです。

▶例えばです。ヨセフの兄たちは、食べること、着ること、人から良いことばかり聞くこと、そういうことしか興味がありませんでした。ヨセフは違いました。何でしょうか。世界福音化が興味でした。どのくらいでしょうか。自分の夢に契約が現れるほどに、世界福音化が自分の夢でした。その時から答えが続けてきました。それが霊的サミットです。とても簡単なことです。まずは、霊的サミットとして召されたということを知ることです。皆さんご存知のようにポティファルの家に行きました。ポティファルは軍隊の長官ですから高い位の人です。でも、長官の家に行ってみると多くの問題が起き、トラブルもありました。妻はいつもお酒の宴会をし、堕落した文化が家の中にあつたのです。ヨセフにはその環境がとても簡単なところでした。霊的サミットでしたから。ヨセフによってポティファルの家の畑まで豊かになったということです。皆さんがこの霊的サミットの事実を知ることが、救われた者に与えられた最初の約束です。ところが、多くの人々は、他のものを信じています。皆さん、霊的サミットだということを知ってください。アブラハムを召されてすぐに、あなたに立ちほだかるものはだれもないと言いました。でも、この霊的サミットのことを信じないで起きていることばかりに気が行ってしまいますと損します。ポティファルの家の畑まで祝福が及んだので、ポティファルはもう言うことがありませんでした。ポティファルがその家の大人ではあつたのですが、実際的な家の經理すべてはヨセフがやつたのです。

▶この祝福を皆さんも回復してください。簡単なところにあります。とても簡単なことは掃除をしながらも祈っていたということです。だれもができることではありませんか。それはどういう意味でしょうか。霊的サミットの祝福は、まさに皆さんのところに来ているということです。間違いなく奴隷の現場で、私がいつまでこんな奴隷をやらなくてはならないのかと恨み、なぜ兄たちはここまで売ってしまったのかとなれば、頭痛もし心臓病も生じるようになると思います。私はどこに逃げればいいのか。私はもうここでは生きられない。私がどうやって人生を生きられるのか。いったい私がだれだということで奴隷にまでなってしまったのか。この状態のヨセフであるならば、何年もたたないうちに病気で死ぬと思います。ヨセフはサミットの約束を握りました。まさにこれです。ポティファルの家に祝福が臨んだのでポティファルが認めました。あなたは今日から奴隷ではない。この家を自由にする総務になりなさい。そして、堕落したポティファルの妻が続けてヨセフを誘惑しようとしてました。もしヨセフがその場面で誘惑されてしまったら、ヨセフはどうなったのでしょうか。おそらく生活は安定して、よく食べ、よく生きたと思いますが、それでおしまいだっでしょう。しかし、ヨセフはそれを拒否したので刑務所にまで入れられたのです。法というのは証明ですから、だれも避けられません。ポティファルの妻から洋服を脱がされました。自分の洋服を持って逃げればいいのですが、いま普通に來ているこのような洋服ではなかったのです。上からかぶる一枚の布になっているものですから、簡単に妻によって一気に脱がされてしまったのです。それを早く着て逃げればよかったのですが、とても驚いていたのでそのまま裸で

逃げてしまいました。その洋服を証拠としたのです。ヨセフにこうやって犯されそうになりましたが、私が叫んだので彼は逃げていったのです。証拠物があるわけですから刑務所行きです。証拠があるということです。ポティファルの妻、長官という権力者の妻が告発したわけです。私たちは、このような事件の前で、下手をすると落胆してしまうときがあると思います。ヨセフは最初から分かっていました。神はすべての信じる者に霊的サミットの祝福を与えられたという事実を知っていました。間違いなく皆さんにもあります。刑務所の中に入ってみると、自分のポジションも年齢もなにも及びません。けれども霊的サミットにはなりました。とうとうサミットの人たちの前に立つのです。だれですか。パロ王です。パロ王がサミットですから、その王の前に立ち答えを提示する霊的サミットになりました。必ず記憶してください。

▶とても簡単なものです。終わったあと、教会に戻る際からもいろいろな言葉をお話したいと思います。総合的にまとめると肉体的なことです。他人の話です。それがエスカレートすれば悪口、気分が悪かった話、誤解された話、誰々がこうでしたという話をします。全部合わせると肉に過ぎません。そこで皆さんは契約を握ってください。私はそれだけをやったのに答えられました。やったことはなに一つありません。まことにそうです。日本を生かさなければならぬ、回復しなければなりません。

▶すべての日本の伝道者たちの皆さんに、神様から与えられる霊的サミットの契約を握ってください。これは見つけるものではなく、神様が準備されたものです。だから、信じるだけでいいのです。お分りでしょうか。この霊的サミットという言葉が分かりませんと、いろいろと無駄な歩みになってしまいます。いつでも肝に銘じなければなりません。わたしが行く一步一步の歩みに霊的サミットが備えられたということ。これらを指して信者と言います。これらを指して弟子と言います。これらを指して伝道者と言います。しかし、現場に行くといかないかのように見えます。でも、必ず備えられてあります。

▶私が皆さんを見て、もしあの人がヨセフのようになったらどうなるのだろうかと思いました。ヨセフのように奴隷として連れて行かれたら、皆さんはどのようにすると思いますか。この人、あの人がもしもヨセフのようになったらと想像してみます。もしもあき子が奴隷になってしまったらどうするのだろうか。考えてみました。あき子はよく耐えるかもしれない。おそらくエジプト語を勉強して通訳していたかもしれないと思いました。食事は良く食べてたぶん問題ないかもしれません。教会内でいつも不平、不満をつぶやく人がいるのですが、そのような人たちが奴隷になったら大きな落胆をすると思います。大きな落胆というのは、大きなショックが心臓に来るわけですから心臓病になります。それプラス監獄にまで入ることになれば、私はもうこれで滅びたと思うでしょう。違います。実は、そこにも霊的サミットが備えられてあるのです。絶対、覚えることです。今日から練習してみてください。問題、苦しみが来たとき、苦しみを味わうのではなく、霊的サミットの状態を味わってください。

▶聖書の学び会をするとき、ある女子学生に話しました。実は、彼女は昼間は仕事をし、夜は学校に行き勉強している子でした。それで会うのが大変でした。主に土曜日か日曜日しか会えません。でも、いつもその彼女は教会の中にいたのです。「こんなに夜遅く家に帰らずどうして教会にいるのか」と尋ねました。ただいまして答えました。ある日、私は、毎日彼女が来ているということに気づきました。学生なのになにかあるなと思ひ尋ねてみました。「昼間はどこに行くのか」「会社で仕事をしています。夜には、どここの定時制の高校に通っています」。それでは疲れているのに家になぜ帰らずに教会に来ているのか、その理由を聞くと、お父さん、お母さんが毎日のように酒を飲んで喧嘩をしていると言います。じゃあどうするのかと聞くと、お父さん、お母さんにお話ししたそうです。「お父さん、お母さんがお酒を飲まないで喧嘩をしない時が来るまで、私は教会に行き祈ります」と伝えたそうです。だから、両親に、「あの子はどこに行ったのか」と考えないで、私に連絡することがあれば教会にいるからと伝えて、教会で祈っていました。女子高校生が大変なことなのに驚きました。ゆっくり寝てこそ次の朝働くことができるでしょうし、勉強もできるはず。決心して、何十日と決めて祈りました。結果はどうなったと思いますか。その家全体がみな救われたのです。本人には申し訳ないですが、私の下で弟子として訓練を受け、いまインマヌエル教会の勸士さんです。旦那さんは長老です。私の教会に来なさいと一度も行ったことがありませんが、いつのまにか来ていました。小さな高校生がこの霊的サミットの祝福を味わっていました。

▶絶対心配しないでください。救われた人にすぐに与えられる祝福が霊的サミットです。弟子を召されてすぐ言われました。あなたがたは世の光です。危機にあったときも起きて光を放てと言いました。すでに主の光があなたの上に輝いているからと言いました。これが救いです。皆さんが間違っていると、問題を全部問題視しますが、すべてが祝福です。霊的サミットとして進むのはとても簡単です。

2) 理由 (3 団体)

▶その理由について話します。いま悪霊にとりつかれた人が、人々を集めて一緒に悪霊にとりつかれる

ようなことをしています。しかもやり方は、とても品のある高級なやり方です。悪霊にとりつかれた人10人ぐらいが集まって、このような運動を始めました。これらの人々が世界を掌握していくようになり、これが3団体です。ニューエイジ、フリーメーソンの始まりも、このシャーマンの人たちによってできました。私はその人たちを悪く言っているものではありません。悪霊にとりつかれた人もそのような力を発揮するのに、私たちは聖霊があるのではありませんか。悪霊にとりつかれた人が力を受けてそういうことをしていますが、神を信じる者に聖霊を注ぐと約束されたのです。皆さんには霊的な祝福が来ているということです。

3) レムナント7人(結果)

▶特にレムナント7人がそうでした。どのような結果をもたらしたのでしょうか。これが皆さんが受ける霊的サミットの祝福です。

①世のサミット、パロ王がヨセフに言いました。主の霊にこんなにも満たされた者、感動されている者を見たことがない。その前にはより重要なことを言いました。王はとても感動して、こんなに主の霊に満たされた者を見たことがない。すべての家臣たちが集まっている中で、この者を総理にするのはどうか言いました。王がそう言ったのにだれが反対するでしょう。もっと恐ろしい話をしました。エジプトのすべての人をあなたの自由にしなさい。このように権力者の横に付くようになったわけです。それだけではありません。その後の言葉はもっと恐ろしい言葉です。私が王としてあなたに優るのは一つしかない。私があなたより優るのは、この王座についていることだけだと言いました。このようになります。これはヨセフに起きた特別なことではなくて、信じる者すべてに來ている祝福です。

▶昨日の講義のようにある日、私は福音が分かって、次に分かったのは霊的サミットです。私には、霊的サミットの祝福が来ている。私は伝道師の時にこれを悟ったけれど、長老を私の立場で教えることはできない。私はまだこんなにも若いのに、大人の長老たちに教えることはできない。どうしてそういう思いがあったかと言いますと、その当時の教会は立派な方々が勢ぞろいしていました。学歴がすごいわけですから、職業も皆すばらしい方々でした。そういう方々の間で私がなにを教えることができるでしょうか。その方々をよく見ると共通的に教役者たちを無視しているような傾向があったのです。賢いわけですから、教会にはいろいろと足りないものがあるので、その度にコメントしてくるわけです。その時私は契約を握りました。私がその方々よりよくできることは一つしかない。あの方々のために祈ることだ。そして、私に特別にできることが一つある。私にはこの手になにひとつ持っているものはないし、背景もありませんが、最高の祈りの人にはなれる。だから、霊的サミットを24時間やるようにしました。最初は定刻祈りを山に行き祈ったりしましたが、山に行く時間がありません。それで24時祈りをしました。最初は断食もしましたが、お腹がすくのでこれも意味はないということで24時祈りをしました。本当に24時間霊的サミットの祝福を祈りました。すると、驚くべきことにレムナント7人に來た答えがそのまま來ました。私もびっくりするくらいに。神様が成就されていったということです。正確に言えば、霊的サミットになってくださいではなく、すでに霊的サミットです。絶対にだまされてはいけません。

②どうしてこの国は生きるのに大変な国なのか。こういう時代に出てきた人物がモーセです。逃してはいけません。モーセ自身はエジプトに勝つことはできません。しかし、エジプトより優れていることは、霊的サミットの状態です。

③私たちは、教会はどうしてこうなのかと言います。しかし、その状況で出てきた人物がサムエルとダビデです。サムエルとダビデの特徴は何ですか。年は若いけれども大人がわからない霊的サミットの世界に入れたということです。幼いサムエルのところに祭司長が来て、これはどうですか、ああですかと教えてもらっていました。幼いサムエルは、なんと未来についても語りました。レムナントには本当に霊的サミットの祝福が来ているから、ちょっと祈るだけで驚くべき祝福が出てきます。あまりにも世的なことがインプットされて、それが刻印になっていますが関係ありません。霊的サミットの祝福を探してください。それはもうすでにお分りだと思います。

④もう一人だけお話ししたいと思います。すべての教役者たちが好きなベテル、すべての教役者が戦って奪おうとするエリコ、そして、自分の子どもに受け継がそうとするギルガル、それはいらぬということです。皆霊的サミットの祝福を受けなければなりません。私に霊の2倍の祝福を与えてください。私に霊の2倍の霊的祝福を与えてください。心が爽快になったエリヤは、あなたは私にとっても難しいことを要求すると言って、それを得るための方法を伝えます。最後までついて来なさい。それでヨルダンを渡り、最後までついていきます。その時にエリヤが巻いていたものを投げてあげます。外套は身分を指しています。その日以来、エリヤに驚くべき力が生まれてきました。それから生まれたのがドタンの町運動です。お分りでしょうか。

▶私は皆さんにこのような話を確実に伝えることができます。なぜなら、私は学生時代、いろいろな恵みを受けることができませんでした。立場的にそうでした。文化的な恵まれた環境ではなかったのです。私を助けてくれる人はいませんでした。すごく大変な環境の中で自分が持っているタラントを発揮できるようなアドバイスをしてくれるような人も横にいませんでした。だから、とても大変で墮落しました。そんな過程を経て、私は福音に出会ったのです。福音を知って福音の中にはものすごい霊的サミットがあるのだなということに気づきました。霊的サミットだけを握ったのに答えが実際に来ました。いま私はこうやってスーツを着ていますが、私が乞食みたいになるときもあります。いつかと言いますと、釣りをしに行くときです。釣り行けば乞食みたいな恰好をするときがあります。ところが、未信者が私を見たら気づいたのです。あの人は何かある人だと言われました。想像してみてください。皆さんご存知のように私がスーツを着ないで普通の格好をしているとすごく変に見えます。だからといってスーツを着て釣りをするわけにはいきません。外見がおかしいとやはりそう見られるのですが、私がどんな格好をしようと「ああ、あの人は何かある」と思われました。だから、内心私は、やはりこの顔にもなにかそういうものが見えているのだなと思いました。化粧、ボトックスも重要ですが、霊的サミット、必要だと思います。

▶本論・王（1世紀を動かす霊的サミット）

お分りだと思いますので、本論に入ります。たくさん話をする時間はありません。こちらを逃してはいけません。

それでは、どんなサミットが残っているのでしょうか。王を見つけることができない、王を超える1世紀を動かす霊的サミットの答えを受けようになります。霊的サミットの祝福を握っただけなのに、1世紀を動かせるほどの霊的サミットになる。なぜでしょうか。1世紀を動かせるほどの力でこそ日本福音化が可能です。なぜこのようにするのでしょうか。私たちは弱いからです。だから、霊的サミットです。実際、なにもできない私たちです。だから、神がこの1世紀を動かせるサミットとして備えられたということです。ヨセフは王の前に立ちました。そして、教えてあげました。ご存知のように、モーセが王の前に立ちました。驚くべきことです。ダビデとサムエルはサウル王の前に立ちました。ダビデはサウル王だけではなく、ゴリアテ、全世界の王の前に立って教えました。ダニエルは三人の王の前に立ちました。同じ答えです。パウロはカイザルの前に立ったわけです。

▶このような話にならないようにことに思えますが、驚くべき祝福が備えられてあります。話にならないと思うかもしれませんが、1世紀を動かせるほどの答えでこそ世界福音化が可能です。もう一度言います。皆さんにこの祝福を与えて日本福音化をさせるということです。皆さんは契約を握ることだけで結構です。握るときにだまされないことです。なぜなら、とても簡単どころに答えがあるわけですから。マタイ13:11-13で、どうしてそのようにすると言われましたか。どうして苦しみをわざわざ与えて悟るようにさせるのか。それは偽物が来ないようにさせるためだとイエス様は言われました。たとえ話をするときというのは、あなたがたを分からせるためだと言いました。また、例えを挙げる理由は、悟ってはいけない人を悟らせないために例えるのです。ある時は、苦しみという仮面をかぶって祝福が来たりもします。仮面を取ってしまえばいいのに、仮面を見て驚いてしまいます。祝福の仮面は驚きの仮面ですから、見て正気になったときにはもういなくなってしまうのです。

1.ただ（キリスト） - 見つけなさい

▶1番です。見えてくるようになると思います。この時から見えてくるもの。それはただという祝福です。ただは、キリストがただではないですか。このキリストを見つければなりません。いつでもどこでもこのただのキリストを見つけてください。どうしてでしょうか。

1) 必要性

▶なぜユダヤ人がキリストを分からなかったのですか。必要性が分からなかったのです。キリストが絶対必要なのに、それを知りませんでした。日本にはキリストが必要です。日本にはキリストだけが必要です。日本の地で偶像が災いになる前に、キリストが必要です。精神的な病が世界でトップだと言われている日本を、キリストだけがやすことができます。お分りでしょうか。

2) 毎日（羊飼い）

▶そのためには、毎日のただを見つけてください。

3) 一生のただ（ゴリアテ、神殿建築）

▶そうしますと、一生のただが見えてきます。

▶毎日のただは、一番分かりやすい人を取り上げてお話ししたいと思います。ダビデは羊飼いをしてい

ました。毎日ただを見つめました。羊飼いをただやったのではなく、神がただですから、毎日、毎日それを見つけてやりました。羊というのは一匹ずつ逃げていくようです。でも、羊一匹をも逃さないという思いがありました。いろいろな獣が来て羊を襲うわけです。その獣と戦うことはできない。そこでダビデは、ただというものを見つめました。この石を投げて獣の額に当たって倒れると、羊をまた取り返してくるということを見つめました。どれぐらい練習したかと言いますと、獅子の急所がどこかあるかを分かっていました。急所に当たれば死ぬでしょう。その急所に当たったので倒れました。その時、口を裂いて羊を取り返してきました。

▶ある日、一生のただが見つかりました。それはゴリアテを倒したという事件です。石をもってゴリアテを倒しました。皆さんも大変だなと思っているところがあると思いますが、ダビデはこのただをもって神殿建築を完全に備えていくものになりました。ただの祝福を味わうことです。今日も皆さんのただを見つけてください。メッセージを聞くときにも、ただぼうっと座って聞きますと面白くありません。損するかもしれません。伝道運動の流れ、日本の流れ、重要なメッセージの流れ、今日のメッセージのポイントなどを考えながら聞いていますと、重要な答えを得ることができます。昨日のメッセージでは、皆さんがどこにいるのかによって、神がそちらにすべての祝福、力を注ぐと言われました。でも、霊的サミットになりますと、それとはまた別なる答えです。皆さんが求めてもいないのに神が備えられた場所に導いていきます。

2.唯一性（神の国） - 待ちなさい

▶次は唯一性です。これはサミットになる道です。皆さんは王もできないサミットの役割をすることができます。今日、皆さんが霊的サミットの祝福が分かるならば、1世紀を動かすことのできる霊的サミットの祝福を見つけることです。こちらにはたくさんの方々が座っていらっしゃいます。重職者の方もいらっしゃいます。常任委員会の先生方もいらっしゃいます。ヤング産業人のレムナントの方々もいらっしゃいます。神様は皆さんに霊的サミットの祝福を備えたので待っていると、重要なことが行われます。

1) レムナント7人

▶レムナント7人中、一人だけを見つけてみてください。霊的サミットの祝福を味わって、ただを味わっていますから、待つと唯一の答えがくるでしょう。この待つということが、神の国が臨まれるということです。この唯一性は、忙しくなってはいけません。待つのです。昨日も牧師先生方にお話ししたのですが、先進国の特徴は早くやりません。待ちます。ただ待つではありません。唯一性、神の国を待つのです。待つことによって、レムナント7人はだれもできない答えを、神様が与えられたということです。今回のメッセージを逃さずに握ってください。だれもできない祝福をレムナント7人に与えました。

2) ヘブル11章

▶ヘブル11章の人々です。想像もできませんでした。

3) 初代教会（ローマ16章）

▶初代教会にこの祝福が臨みました。特にローマ16章の人たちに。

▶日本ではたくさんレムナントの方々も起こされています。希望を持っています。日本の若い牧師先生が起こされています。日本という国にだまされないでください。日本を生かさなければなりませんから。信徒たちにだまされないことです。信徒たちを生かすために。親にもだまされないでください。親を生かさなければならぬから。神から与えられた大きな力、霊的サミットの祝福を味わうことです。それを味わいますと、1世紀を変える答えが来ます。牧師先生はお分りだと思います。このタラップン伝道運動は、1世紀を変える霊的運動です。だれもが信徒たちを奪われると恐れて、いろいろと妨げますが、妨げることはできたとしても邪魔はできないと思います。私が思うに、そのような邪魔はかわいそうなことだと思います。自分の宣教や牧会を生かすためにそうやっていくことはかわいそうなことです。しかし、とにかく止められません。皆さんが伝達した契約を若者が起きてそれをまた伝えていくとき、だれも止められない伝道運動になっていきます。日本はいま全世界を生かす準備をしなければなりません。ですから、この祝福は来るしかありません。

3.再創造（聖霊） - 挑戦

▶再創造です。再創造は挑戦しなければならない部分です。この唯一性を待っていないのに挑戦してはなりません。唯一性が来たら挑戦すべきです。必ず記憶してください。では、どのように挑戦しますか。聖書をよくご覧ください。

1) 誰もできないこと

▶誰もできないこと。ここに挑戦するのです。だれも日本の福音化はできませんでした。まだ1%にもなっていないので、皆さんが挑戦してください。再創造は聖霊の働きです。だれも止められません。

2) だれも行くことができないところ

▶だれも行けないところ。パロ王の前に行けません、パロ王の前に立ったのです。カイザルの前に行けません。しかし、前に立ちました。しかも前に立って正確な福音を伝えました。

3) だれも与えることができない答え

▶そして、そこでなにをしたのでしょうか。だれも与えることのできない答えを与えました。これが再創造です。

▶だれもできないことを、だれも行けないところを、だれも与えられない答えを…。そうだと思いますか。これでできたのです。福音を聞けず死にゆく人たちがたくさんいます。一番の問題点は何でしょうか。全世界に行って福音を伝えているところを見てみますと、教会に通っている人を見ますと、教会に通っている人が問題です。私たちが伝えたら初めて聞きましたという反応です。だれのせいなのでしょう。これが問題になりました。元々、既存の教会の人が、私たちの福音を聞いて、初めて聞きましたということで、私たちの教会に来てしまいますから問題になったのです。福音を聞けない国はたくさんあって、あるところは一度だけの福音のみわざが起きたというところがあります。必ず記憶してください。

結論

▶結論です。神様は、皆さんにサミットだけを与えたわけではありません。

1) 力

▶暗やみとサタンを倒す力まで与えました。ものすごい祝福です。権威を授けられたわけですが、サタンは追い出しても、また来ます。

2) ひざまずく

▶神様は皆さんに権威を与えて追い出すだけではありません。あなたがたの足でサタンを踏み砕くことができると言われました。暗やみの勢力をひざまずかせ、踏み砕くことができます。日本の地にある暗やみの勢力がひざまずくでしょう。

3) 縛る

▶もっと重要なのが3番目です。すべての暗やみの勢力を縛りあげることができます。サタンは死なない存在なので、このように縛り上げて地獄に行かせるわけです。皆さんの中の幾人かでも霊的サミットとなって、このように祈っていきますと、日本の暗やみの勢力、災いを縛りあげることができます。

▶これらはすべてサミットが味わう祝福です。お分りでしょうか。これを信じてください。神がともにおられますから、皆さんが行くと逃げていきます。しかし、この霊的存在は逃げてもまた来ます。でも、皆さんが本当にみことば運動をすると踏み砕くことができます。それだけではありません。縛りあがってしまいます。この力は霊的サミットになる祝福です。皆さんに来るどんな問題も恐れる必要はありません。私はいろいろとミスをして失敗してしまった。心配しなくて結構です。神様はその事柄もいやし祝福してくださいます。失敗したことも心配する必要はありません。その失敗に対して悟らせ、またいやしてくださいます。また、私が知らず知らずのやってしまったことがあります。その知らない部分は悟らせてくださいます。なぜなら救いの神様であるからです。

▶いつもそうでしたが、今回の集会のメッセージは必ず握ってください。いやさなければなりません。皆さんがサミットとして行かなければなりません。今日の午後は、旅程を進まなければならないでしょう。どんなに私がサミットでも道を間違っしまえば行けません。病気を治したいのに間違ったところに歩んではまえば治せません。この3つの講義が日本を変える始まりとなりますようにお祈りします。

(祈り)

神様、感謝します。今日がまさにその日となりますように。私たちのものを見つけることができますように。主が備えられた霊的サミットを発見しますように。本当に1世紀分の答えを受けて、日本を生かすことができますように。主から与えられたものすごい権威を回復しますように。イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。